

令和8年度 予算編成方針

令和8年度予算編成は骨格予算とし、継続事業や経常的な事業を中心とした予算計上としつつも、これまで進めてきた本市の発展・成長に向けた未来への投資の重点化を継続する予算編成とします。あわせて、変革への取組みにより、より一層の財源確保を図ります。

令和7年（2025年）9月 豊中市長 長内 繁樹

投資の重点化・集中化

重点政策である「こども政策の充実・強化」を核として、将来にわたり住み続けたいまちづくりを戦略的に進めるため、3つのプロジェクトを中心に投資案件の集中化を図り、市民が実感できるサービスの質の向上、まちの新たな価値の創造につなげます。

『2026経営戦略方針』の3つのプロジェクト

●「子育てしやすさNO.1」プロジェクト ●快適・賑わい・憩い空間づくりプロジェクト ●とよなかエコシステム推進プロジェクト

変革への取組みを通じた財源の創出

施策の目的をふまえ、めざす成果を明確化するとともに、成果達成に向けた実施手法、公民学連携等、社会情勢の変化への適応やサービスの適正化といった視点で検証を行います。

全部局挙げて、ビルド・アンド・スクラップを徹底し、新たな歳入の確保、新たな発想による事業や業務の変革をおし、財源を創出します。

社会経済情勢を踏まえた対応

変化する社会経済情勢に対応しながら、これまでの取組みをさらに推し進めていきます。